



Southern Cross



The Japanese School in Perth
パース日本人学校



2023 No.8

11月1日発行

Web-site www.japaneseschool.wa.edu.au

e-mail: toiwase@jsp.wa.edu.au

「没頭する体験」～オープンナイトの取り組みから～

校長 寺本 喜和

10月18日（水）シティービーチ小との合同行事のオープンナイトが開催されました。

今年は昨年を引き続き、日本文化の発信を目標にした取り組みを行いました。4年生以上の子どもたちが、4つのグループに分かれて、自分たちが考えたアトラクションの計画をして、実行しました。各グループは、異学年児童生徒で構成され、上級生がグループをリードする姿が見られました。自分たちが企画し、考えた活動に取り組むと、子どもたちの目の色が違います。誰に指示されなくとも自分たちでどんどん行動する姿がありました。物事に没頭する姿というのはこういう姿だと感じました。

没頭した取り組みからは、さらに思いが広がり、新しいことに挑戦しようとしたり、うまくいかないことに出合っても乗り越えるための方策を考えて試したり、仲間との協働が始まったりなど、活動の深まりや進展が生まれます。もしも、子どもたちの思いや考えを受け止めず、教師や保護者などが決めたことに、有無を言わせず取り組ませたら、本校の多くの子どもたちは、それにしたがって行動しようとするでしょう。しかし、やらなくてはならないから取り組んでいるだけで、没頭とはほど遠い姿になる子もいるのではないのでしょうか。

社会に出てからは、自分が意図することと違うことに、取り組まなくてはならないこともあります。しかし、そのような中でもやりがいを見付ける力があれば、前向きに取り組めるはずです。また、意図していないことに悩んだり、困ったりしても、新しい扉を開く力があれば希望がわいてくるはずです。こうした力は誰かに決められたルールに乗ってただこなすだけの毎日や、困ったときにすべて誰かが肩代わりしてくれる生活の中では身に付きません。自分の思いや考えにしたがって取り組み、成功や失敗を何度も経験したり、他者との良好な関係づくりを果たすための様々な体験をしたりするなどを繰り返しながら積み重ねていくことで培われていきます。ここで培われた力こそが、変化の激しい現代の社会の中で自分が望む未来を切り拓き、いきいきと生活していくために必要な力だと考えます。

そして、この力を培う根底にあるのが、子どもの思いや考えを受容することです。もちろん、明らかに危険なことや他者の心身を傷つけるようなこと等には指導が必要です。しかし、それ以外のことであれば、まずは、子どもに任せてみることも大切です。失敗しても頭ごなしに叱るのではなく、見守りと次に向けてそっと背中を押してあげることが大事です。子どもたちは、大人が思っている以上に発想力や創造力が豊かです。私は、子どもたちが自分の意志で行おうとする前に口をはさんでいないか、行動を待っているか、受容的態度で常に接しているか、今一度見つめ直しています。

11月には学習発表会を行います。現在、この発表会に向けて子どもたちは準備に余念がないところですが子どもたちの発想を大切にして、「没頭する」取り組みとなるように進めてまいります。



オープンナイト

10月18日オープンナイトが開かれました。何週間も前から4年生以上の子ども達が集まって話し合いや準備を重ね、本番を迎えました。また、ジャパニーズ・フリースタイルとして、それぞれ日本をイメージする服装で参加しました。お客さんとして参加した1年生から3年生の子ども達も、自分たちで企画・運営した4年生以上の子ども達も、みんな笑顔で終わることができたオープンナイトでした。

次の日は、CBPSの6年生と日本の遊びや文化を通して交流しました。

避難訓練(不審者・火事)

11日不審者対応の避難訓練を行いました。開放的な素敵な校舎である反面、外部から侵入しやすいというデメリットもあります。不審者が侵入してきたら、どんな行動を取ればいいのかを落ち着いて考えて行動することができました。

また、16日にはCBPSから火事が起きた想定で合同で訓練を行いました。

ミュージックアセンブリー

27日CBPSの音楽集會に全校生で参加しました。JSPは、「クラッピングファンタジー」と、CBPSのクワイヤーの子ども達と一緒に「Si Si Ni Moja ~We are One~」英語で披露しました。始めは、なかなか覚えられなかった歌詞も、振り付けと共にしっかりと覚え、CBPSと共に素敵な二部合唱を会場に響かせていました。保護者の皆様の温かい拍手ありがとうございました。

前期JSP教育活動フィードバックへのお礼と回答

前期教育活動フィードバックにご協力いただき、ありがとうございました。フィードバックは全教職員で共有させていただきました。

次の点について、肯定的なご意見をいただきました。

- ①日本と離れた場所で出来る限り多様な体験を積むことができるようにさまざまな出前授業を実施していたこと。
- ②アスレチックカーニバルでは、団体競技でもリボンを渡すようにしたことや、中学部に種目紹介や進行役など、新たな役割を任せたこと。
- ③授業参観の期間が1週間設定されていて、参観しに行く都合がつけやすかったこと。

その一方で、今後さらに学校運営、教育活動がよりよいものになるようにといただいたご意見もありました。新たに導入したスクールストリームは、細かな設定について改善が必要であることがわかりました。とくに、保護者のみなさんが参加する行事等の連絡については、分かりやすく発信していきます。また授業内でのタブレット使用についてのご意見もありました。今年度は新たなアプリを導入し、互いの考えを共有し、自分の考えを深めるためのツールとして活用したり、記録の蓄積のために活用したりしています。

さらに、現地校への転出に向けたアドバイスがほしいとのご意見がありました。ご希望される場合は、英語科教員による進路相談や英語学習の助言をしておりますので、いつでもご相談ください。

今後も、行事の後にはフィードバックの集約をする予定ですが、お気づきの点がありましたらお知らせください。